

パブリックコメント意見募集結果

案件名	結城南中学校区新設校基本構想・基本計画（案）	
担当課	教育委員会 学校教育課 学校再編係	
案の公表及び意見募集期間	令和5年1月30日（月）～令和5年2月20日（月）	
意見提出者数	2名	
意見の件数	12件	
提出された意見等の概要と市の考え方	意見等の概要	市の考え方
	<p><b>【第Ⅱ章基本構想</b>  <b>1 小中一貫校の教育方針</b>  <b>（2）小中一貫教育の方針</b>  <b>（14ページ）】</b></p> <p>・「切磋琢磨」の削除。教育学的効果、実証的根拠がなく、保護者の不安を煽るため。</p> <p><b>【第Ⅱ章基本構想</b>  <b>1 小中一貫校の教育方針</b>  <b>（2）小中一貫教育の方針</b>  <b>（16ページ）】</b></p> <p>・「中一ギャップ」を使用しない。科学的根拠がない（国立教育政策研究所 リーフレット「中一ギャップ」の真実）とされているので、使用を控えるべきです。</p>	<p>・ここでいう「切磋琢磨」は児童生徒が学問や技能、道徳等を努力して磨き、自己研鑽に励むことを意味しております。</p> <p>・お示しのリーフレットでは「中1ギャップ」という言葉を使う際に「中学校1年生だけのいじめ、不登校問題」と捉えることなく「小学校からの連続性に注目することで、中学校の問題を解消する」と述べられていることや、説明会において保護者から「小学校と中学校での生徒指導方法の違いによる課題の解消」の対応策について要望があったことから、中学1年生だけの問題と捉えず9年間の継続した丁寧な取組といった支援の充実を小中一貫教育の方針とします。</p>

	<p><b>【第Ⅱ章基本構想</b>  <b>2 目指す学校のカタチ</b>  <b>(3) 敷地の選定</b>  <b>(21 ページ)】</b></p> <p>・中学校敷地内に建設ということだが、建設中の騒音等在学生へのストレスはないか。</p> <p><b>【第Ⅱ章基本構想</b>  <b>2 目指す学校のカタチ</b>  <b>(4) 校舎配置比較</b>  <b>(23 ページ)】</b></p> <p>・小中学校を渡り廊下で接続し、異学年交流をするということだが、小学生と中学生では授業時間なども違うが、どのような形で行うのか。</p> <p><b>【第Ⅲ章基本計画</b>  <b>1 規模設定</b>  <b>(6) 屋外施設の検討</b>  <b>1) 整備上の配慮事項</b>  <b>(34 ページ)】</b></p> <p>・バスロータリーは3台程度の乗降スペースを確保とあるが、生徒数を数えるともっと必要ではないか。</p> <p>・遊具広場をどれだけの広さ確保するかによってグラウンドの広さも変わってくると思うが、遊具スペースは十分に確保して下さい。</p>	<p>・工事中の騒音等については、これまでの修繕工事等と同様に、工事期間の調整や十分な騒音対策により在学生徒への影響が少なくなるように配慮いたします。</p> <p>・詳細な日課表や時間割は今後、教職員を中心とした専門部会において検討を進めてまいります。県内外の多くの小中一貫教育を実施している学校では1時間目、3時間目、5時間目などいくつかの時間のみ始まりの時間をそろえることで小学生と中学生の異学年交流やそれぞれの教員による乗り入れ授業を実施していることから運用事例を参考にいたします。</p> <p>・スクールバスの乗車対象者や運用のルールは今後、保護者や地域の方を含めた専門部会において検討を進めてまいります。その方針に基づきバスの必要台数等が決定次第、バスロータリーの詳細設計に反映いたします。</p> <p>・遊具の種類やスペースは今後、専門部会において検討を進めてまいります。貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
--	---	--

	<p><b>【第三章基本計画</b>  <b>1 規模設定</b>  (6) 屋外施設の検討  <b>2) プールの検討</b>  <b>(35 ページ)】</b></p> <p>・プールを設置されたい。本計画ではプールが撤去・廃止されま  す。学校外での施設を利用し、プ  ール（水泳）の授業時間にするも  のと思われます。しかし、施設不  足の問題、送迎時間も含めた水泳  授業による他科目授業時間の確保  など、問題の発生が予想されるた  め、プールを設置することを求め  ます。</p> <p>・民間委託をするにはバスでの移  動時間が必要となるが、授業時間  への影響はないか。また、バス移  動において車酔いしてしまう子へ  のケアはどうするのか。</p> <p><b>【第三章基本計画</b>  <b>2 配置計画</b>  (3) 配置計画のイメージ  <b>(44 ページ)】</b></p> <p>・放課後児童クラブの設置の可否</p>	<p>・令和4年度の学校プールの民間  委託の試行実施においては1・2  時間目、3・4時間目と連続した  体育授業の時間割を組むことで移  動時間と水泳指導時間を確保し、  実施いたしました。水泳授業を実  施する期間のみ時間割を調整する  ため、他科目授業時間を減らすこ  となく実施できております。ま  た、児童保護者や教職員からは、  天気や気温に左右されない温水プ  ールにおいて専門のインストラク  ターによる水泳指導を受けること  での児童生徒の泳力向上、プール  施設の維持管理に係る教職員の負  担の軽減が図られたといった意見  があり、民間委託のメリットを踏  まえた上で、授業スケジュールな  どの詳細については今後、教職員  を中心とした専門部会において検  討を進めてまいります。</p> <p>・水泳授業のバス移動により車酔  いしてしまう児童へのケアとして  は、現在の校外学習等におけるバ  ス利用時の運用と同様に状況に応  じて保護者の意見を聞きながら個  別に対応してまいります。</p> <p>・41ページの(8) 所要室の規</p>
--	--	--

	<p>及び設置場所を明確にされたい。5校が統合することにより、相当数の児童が利用すると思われま。しかし、本計画（案）では触れられていません。スクールバスの運行時間とクラブの開設時間、お迎えが困難な親への対応なども課題となります。新設校内設置にするのか？専用施設を設置するのか？運動場は利用できるのか？専用施設の設置の場合には、どの位置に設置するのか？今の時点で決定しなければ、混乱を招くことになるため。</p> <p>・行事等で保護者が来校する際の駐車場スペースは十分であるか。</p> <p><b>【第IV章計画実現のための検討 3 小学校の跡地利用 (53 ページ)】</b></p> <p>・具体的な記載をされたい。統廃合ありきの進め方になっていないか心配です。検討委員会や行政の皆様も心配されているため、この章が設けられたと思います。踏み込んだ具体的な記載をお願いします。このままでは、子どもたちと地域住民の権利を保障している学校の統廃合が30年後の市民によ</p>	<p>模設定において、放課後児童クラブについては「敷地内に確保予定」との計画をお示ししております。今後、既存の中学校空き教室の活用や専用施設設置などの方向性について、庁内調整会議において福祉部門と調整してまいります。</p> <p>・既存の駐輪場の一部を解体し、現在の駐車場と一体で整備することで100台以上の駐車スペースを確保いたします。また、保護者が一斉に来校する際の駐車スペースについては常時確保しておくのではなく、現在の結城南中学校における臨時駐車場（多目的広場やグラウンド）の運用を参考に、保護者の来校に支障のないように対策を講じます。</p> <p>・小学校の跡地利用に関しては、3項目の基本的な考え方に基づき、今後全庁的な組織により検討を進めてまいります。貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
--	---	--

る検証に耐えることができるようにしてください。学校は児童の教育以外にすぐに思いつくだけでも下記のような存在価値があります。地域コミュニティー中核施設、地域住民の安全安心の為の避難所、地域住民のスポーツ活動の中核施設、地域活性化か叫ばれて久しいが、小学校の廃校は逆行するものと言わざるを得ません。上記のようなことから、小学校の存続を強く求めます。次善の策というか、再編が進むとなれば、跡地に社会教育施設としての公民館を設置して欲しいと思います。

・事業の進め方についての再検討をされたい。公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日）には、『地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれる』とあります。聞くところによれば、今回の統廃合について地域住民の半数が知らないとのこと。また、上記のような学校持つ存続価値や小規模校と大規模校の比較などの地域と子どもたちについて、住民による意思決定という地方自治・住民自治の実践の場とするため再編（統廃合）が必要かどうかを含め再検討してほしい。また、市民への説明会、意見聴取、パブリックコメントなどは中間的な時期にも実施してほしい。

・事業の進め方については、対象地域を中心とした取組にはなりませんが住民への全戸配布、小学校・中学校・保育所（園）・幼稚園を通じた保護者への周知案内・アンケート調査を実施しているところです。令和5年1月実施の説明会は、5回開催し延べ122人の方に参加いただきました。今後は、専門部会による教育課程などの詳細な協議や建物の建設に係る設計業務を実施してまいります。適宜説明会の実施や会報の配付などにより、情報共有、合意形成に努めてまいります。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は教育だけでなく、地域コミュニティの核であり、防災拠点でもある。5校を統合するのなら、それにかわる有益な利用の仕方をしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</li> </ul>
結果の閲覧場所	結城市ホームページ、市学校教育課窓口、ゆうき図書館、結城出張所、江川出張所、山川出張所、結城南中学校区内小中学校	
公表資料	結城南中学校区新設校基本構想・基本計画（案）	
問い合わせ先	結城市教育委員会 学校教育課 学校再編係 電話 0296-34-0376 FAX 0296-32-1999 E-mail school@city.yuki.lg.jp	